

国語 科目 発展古典探究

單位數： 4 單位

使用教科書：（ 高等学校 精選古典探究（第一学習社）

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活
----------	------------

科目 発展古典探究		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感した豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通し積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞 書・読	知 思 態	記 時 数	
1 学 期	大鏡	【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などの的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとする。・本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとする。	・歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・古典の文や文章の構成、展開のしかたについて理解を深める。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。				
	枕草子	【知識および技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などの的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】・学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解くこととする。・本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとする。	・日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。			6	
	源氏物語	【知識・理解】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などの的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する。・文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・古典の作品や文章など、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に逸話を読み、平賀の「玉」を受け取らなかった理由と、そのことに対する宋国の長者の評判について説明しようとしている。・人にとっての宝とはどのようなものかについて進んで理解しようとしている。・積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考えを説明しようとしている。	・古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少獅子の説得の巧みさを読み取る。 ・前半の平賀の逸話と後半の論議を読み、人にとっての「宝」とはどういうものかを捉える。 ・「不死の道」を知る者の死をめぐる人々の言葉から、「不死の道」についてのそれぞれの考えを読み取る。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。			8	
	定期考査						
	源氏物語	【知識及び技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などの的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとする。・学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとする。	・長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。			10	
古体詩	【知識・技能】・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などの的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【学びに向かう態度・人間性等】・全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとする。	・構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・漢詩の特色について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。			8		
	『源氏物語』と『白氏文集』	【知識・技能】・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】・作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえたが古典などを鑑賞し、その内容の解釈や表現の価値について考察する。・関心をもちた事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを鑑賞し、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【学びに向かう態度・人間性等】・『長恨歌』と『源氏物語』桐葉の巻とを粘り強く読み比べ、登場人物や物語の展開などの類似点を指摘しようとする。	・「長恨歌」と、この作品から影響を受けて書かれた『源氏物語』桐葉の巻とを読み比べ、登場人物や物語の展開などの類似点を指摘しようとする。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考える姿勢を養う。・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。			10	
	定期考査						

2 学 期	無名草子	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・二人の女性作家に関する人物評の構成や内容を強く整理し、理解を深める。</p>	<p>・著名な作品の女性作者二人を二百年後に批評した文章を読んで、歴史の伝承のしかたの一端に触れる。</p> <p>・評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。</p> <p>・文語のきまりについて理解を深める。</p>			○	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・二人の女性作家に関する人物評の構成や内容を強く整理し、理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	10
	讀歌枕傳日記	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで語の展開や登場人物の心理について理解を深めようとする。</p>	<p>・重病の天皇に仕えた日々を克明に記した日記を読んで、場面を的確に捉え、人々の心情を読み取る。</p> <p>・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・文語のきまりについて理解を深める。</p>			○	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで語の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	10
	諸家の文章 「医家談笑」「売柑者言」「為学」	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典の作品や文章などに関係のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。・古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深める。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に随想を読み、欧陽脩と蘇軾があげた葉の例について、材料と効能をそれぞれ説明しようとする。・蘇軾の発言の意図と、それを聞いた欧陽脩が「大笑」した理由を連んで考えようとする。・積極的に随想を読み、欧陽脩と蘇軾があげた葉の例について、材料と効能をそれぞれ説明しようとする理由を説明しようとする。・作者は「柑」の語を通して何を述べようとしたのかを、連んで考えようとする。・積極的に随想を読み、作者が蜀の辺境に住む二僧の語を取り上げた意図を説明しようとする。・「昏・庸」「聡・敏」が学ぶ者の態度に及ぼす影響の違いを整理するとともに、作者は学問において何が重要だと考えているかを連んで説明しようとする。</p>	<p>・医家の効能に関する二人の会話を読み、欧陽脩があげた例と、それに対して蘇軾が返した例の意味を理解する。</p> <p>・作者が買った「柑」の実向とそれを売る者の言い分を契機として、作者の目何に向けられているかを読み取る。</p> <p>・対句を多用した対比的構構に注意しながら論理の展開を押さえ、学問を行う態度に関する作者の考えを読み取る。</p> <p>・随想、論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</p> <p>・文章を読み、自分のものの方や考え方を深める姿勢を養う。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。</p> <p>・訓読のきまりについて理解を深める。</p>			○	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。・古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に随想を読み、欧陽脩と蘇軾があげた葉の例について、材料と効能をそれぞれ説明しようとしている。・蘇軾の発言の意図と、それを聞いた欧陽脩が「大笑」した理由を連んで考えようとしている。・積極的に随想を読み、作者の主張を整理するとともに、作者が「茫然無以応」となった理由を説明しようとしている。・作者は「柑」の語を通して何を述べようとしたのかを、連んで考えようとしている。・積極的に随想を読み、作者が蜀の辺境に住む二僧の語を取り上げた意図を説明しようとしている。・「昏・庸」「聡・敏」が学ぶ者の態度に及ぼす影響の違いを整理するとともに、作者は学問において何が重要だと考えているかを連んで説明しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	無名抄	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとする。・俊恵の評価基準をふまえて、学習課題に沿って和歌を評価しようとする。</p>	<p>・和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、俊恵が考える和歌の評価基準を理解する。</p> <p>・歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>・書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・文語のきまりについて理解を深める。</p>			○	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとしている。・俊恵の評価基準をふまえて、学習課題に沿って和歌を評価しようとしている。</p>	○	○	○	9
	毎月抄	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって歌論を読み、本歌取りについて積極的に理解を深めようとする。</p>	<p>・定家が本歌取りについて具体的に考察した内容を読み取り、和歌に関する理解を深める。</p> <p>・歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・本歌取りについて述べた古典の文章を読み、和歌の修辞について理解を深める。</p> <p>・文語のきまりについて理解を深める。</p>			○	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・学習の見通しをもって歌論を読み、本歌取りについて積極的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	史記の群像 「管鮑之交」	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に史伝を読み、管仲が斉の大夫に任命されるまでの経過を整理するとともに、鮑叔を「鮑子」と呼んだときの管仲の心情を説明しようとしている。</p>	<p>・王位継承をめぐる戦いの経緯を人物関係とともに押さえ、敵味方に分かれた友情の顛末を読み取る。</p> <p>・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</p> <p>・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。</p> <p>・訓読のきまりについて理解を深める。</p>			○	<p>【知識・技能】・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>【学びに向かう態度・人間性等】・積極的に史伝を読み、管仲が斉の大夫に任命されるまでの経過を整理するとともに、鮑叔を「鮑子」と呼んだときの管仲の心情を説明しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
3 学 期		共通テスト・過去問演習、個別指導						○	○	○	12
								○	○	○	9
								○	○	○	8
	定期考査							○	○		140

